

休日などにリフレッシュ

1時間圏内にさまざまな楽しいポイントがあります。
同期などを誘いおでかけしてみたいかが!



Event♪

院内外で、さまざまな活動をしています。



音楽祭

令和初のコンサートは、自分たちの手で作り上げたいという
熱い思いを持った医師、看護師、理学療法士、作業療法士、
事務職員等が集まり、盛大に行われました。



看護の日フェスティバル

「イオンモールむさし村山」で開催しました。
地域住民の方々との交流の場です。



独立行政法人 国立病院機構
村山医療センター

〒208-0011 東京都武蔵村山市学園2-37-1
TEL.042-561-1221(代) URL <http://www.murayama-hosp.jp>

看護職員募集案内



独立行政法人 国立病院機構
村山医療センター

Welcome to Murayama Medical Center!

第一歩を私たちと一緒に始めませんか？
私たちの看護を紹介します。



やりたい
看護が
ここには
あります！



「骨・運動器疾患看護」 「リハビリテーション看護」を 極めます

先進医療を提供する周術期看護や、最新のエビデンスに基づいた脳卒中リハビリテーション看護を提供する中で、実践のスキルを養うことができます。その経験をもとに、運動器看護学会、回復期リハビリテーション病棟協会、日本摂食嚥下リハビリテーション学会などの学会認定士を取得して、さらに活躍の場が広がります。

第5病棟(一般整形外科)



腰椎間板ヘルニアや腰部脊柱管狭窄症、頸椎症性脊髄症、側弯症など脊椎疾患の患者さんが多い病棟です。術前に、側臥位への体位変換、生活の訓練やオリエンテーションを行い、不安軽減を図ります。術後は装具の着脱方法や、コルセット装着中の注意点など生活を考えた指導を行います。



看護紹介

HCU

術後の集中管理を必要とする患者さんを受け入れ、院内の急変時や研修では中心となって活動できるよう、自己研鑽に努める向上心あるスタッフが多数います。患者さんとかかわる時間は少ないですが、患者さんの病状に合わせた安全な看護を提供することを目指します。

看護部長
メッセージ

村山医療センターのパンフレットを手にとっていただき、ありがとうございます。あなたは、どのような看護師になりたいと考えていますか？村山医療センターは、一般病院では対応が困難な骨・運動器疾患および褥瘡創傷に関する高度な医療と、早期の社会復帰をめざしたリハビリテーションに至るまでの一貫した医療を提供しています。そして、それぞ

れのスペシャリスト達が、患者さんにより添った医療・看護を提供するために活躍しています。なりたい看護師になるためには、入職する病院が大切であると言われています。教育制度、看護体制、人間関係等の整った村山医療センターから第一歩を踏み出しませんか。



看護部長 前田 奈穂美

第4病棟(一般整形外科)

脊椎疾患の他、股関節・股関節疾患患者さんが多い病棟です。人工関節の手術後は、脱臼に注意します。そのため、日常生活援助、退院に向けイメージを持つことが重要です。さらに、リハビリを十分に、退院後の不安が解消できるよう地域包括ケア病棟と連携を図ります。



看護紹介

第6病棟(混合病棟)

整形外科と外科の混合病棟です。整形外科では頸椎・腰椎疾患、手の外傷、外科では癌、胆石、嚥下障害のある患者さんの胃腸造設などが多い病棟です。内科の患者さんを受け入れることもあり多職種で関わり、退院後をイメージした指導やリハビリを心がけ、ミニ勉強会やOJTにも力を入れています。



看護紹介

手術室

年間2000件以上の手術を行っています。術前・術後訪問を通じて、不安を抱えながら手術に臨む患者さんの思いに寄り添い、個性に応じた安全・安楽な看護が提供できるように多職種と情報共有し手術室看護を実践しています。また当手術室はプリセプター制度を採用し、手術室クリニカルラダーに沿って指導を行い、安心して仕事に取り組みめる環境を提供しています。



チーム医療による 「地域包括ケア」を実践します

当センターには、地域包括ケア病棟があります。急性期治療を経験した患者さんとそのご家族が、不安なく自宅へ帰ることができるように看護師が中心となって、医師・理学療法士・作業療法士・言語療法士・地域のケアマネージャーなどと連携を図り、在宅復帰サポートを行います。スムーズで安心な退院調整を行う看護の力が身につきます。



第1病棟 (回復期リハビリテーション病棟)

脳血管疾患または大腿骨頸部骨折などで急性期を脱しても、まだ医学的・社会的・心理的なサポートが必要な患者さんに対して、多くの専門職種がチームを組んで集中的なリハビリテーションを実施し、心身ともに回復した状態で自宅や社会へ戻れるよう支援します。



看護紹介

外来

外来部門は、整形外科(側弯症、骨粗鬆症、など専門を含む)、外科、内科、リハビリ科、歯科(歯周病)、禁煙外来などがあります。骨折を予防する骨粗鬆症治療において重要な役割をもつ骨粗鬆症マネージャーを育成し、質の高い医療ときめ細やかな看護の提供を目指します。待合室の患者さんに声掛けを行い、長時間お待ちせないように配慮します。



あなたの個性を尊重して 豊かな人間性を育みます

個々の能力に合わせて、段階的に専門的な知識や看護実践能力を身につけていける教育プログラムがあり、プリセプターや教育担当者を中心として丁寧に指導・サポートしています。働きやすい環境で、じっくり患者さんとかかわる看護を通してあなたに優しい心をはぐくみ、看護師としてしっかり成長することができます。

地域医療連携室

地域医療連携室では、前方連携、後方連携の推進、広報活動、医療相談、セカンドオピニオンなど様々な機能を充実させ、地域完結型医療の推進を図り、院内における横断的部署として、多職種とチームを組み、患者さんと地域の暮らしをつなぐ役割を担います。



第2病棟 (骨運動器疾患病棟)

腎臓損傷患者を中心に、急性期を脱し、社会に戻る準備をする患者さんを受け入れます。機能を再獲得するリハビリテーションや残された機能を補う工夫などを医師・リハビリスタッフ・ソーシャルワーカー等、共に考え実践しています。機能の回復に伴う自宅改修に向けた退院前訪問も行います。



看護紹介

第3病棟 (地域包括ケア病棟)

病状が安定した患者さんが安心してご自宅で生活ができるように支援する病棟です。スタッフがチームで関わり、患者さん・ご家族のサポートをし、また在宅で介護を受けている方に一時的な入院をして頂き介護者の負担を軽減するシステム(レスパイト入院)も実施します。

- 理念 患者さんの視点に立ち、良質で高度な医療を提供します。
- 看護部理念 私たちは国立病院機構、村山医療センターの理念に則り、専門性を発揮した看護を提供します。
- 看護部基本方針 私たちは、患者さんの信頼、人格、生活、権利を尊重し、意思決定への支援および自立への支援を行います。
- 看護部基本方針 私たちは、患者さんに満足される安全で安心な看護を提供します。
- 看護部基本方針 私たちは、豊かな人間性と高度な専門的知識・技術を持ち、的確に判断し実践できる看護職員を育成します。
- 看護部基本方針 私たちは、チーム医療の一員として他部門と協働し、再発予防に積極的に参画します。
- 看護部基本方針 私たちは、看護活動をおして地域に貢献します。

●病院概要	開設年月 1941(昭和16)年10月 病 床 数 303床 職 員 数 322名 診療科目 内科、神経内科、外科、整形外科、リハビリテーション科、リウマチ科、歯科、腫瘍科 専門外来 整形外科、内科リウマチ、骨粗しょう症、禁煙外来 その他 東京都地域リハビリテーション支援センター、東京都高次脳機能障害支援センター	●看護部概要	看護職員数 189名(男性看護士30名) 看護方式 固定チームナーシング 看護配置 10:1(一般) 勤務体制 二交代(一部、三交代併用)
-------	--	--------	--

新人看護師1年間のあゆみ

配属部署の教育

夜勤導入シート
日勤マンツーマン指導

4月

集合教育

- 新採用者職員研修(5日間)
- 看護実践講座(4月)
 - ・創傷ケア
 - ・吸引
 - ・輸液ポンプ、シリンジポンプの取り扱い
 - ・内服薬について
 - ・採血

- 看護実践講座(5月)
 - ・急変時の対応(基礎編)
 - ・人工呼吸器の取り扱い
 - ・点滴静脈注射
 - ・心電図

5月

6月

- 看護記録研修
- 看護実践講座(6月)
 - ・リアリティショックを乗り越えよう
 - ・リフレッシュ研修
 - ・懇親会

7月

8月

- 看護記録研修
- 医療安全研修
- シャドーイング

9月

- 急変時の対応
シミュレーション学習

10月

11月

- 静脈留置針
- 多重課題・ロールプレイ

技術チェックリスト12ヶ月

12月

1月

- 記録研修
データベース

2月

- 看護の振り返り

3月

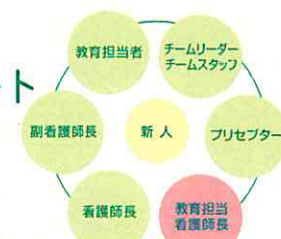
ハンドブックで
しっかり
チェック!



新人看護師は胸に
ハッピーローバーを
付けています。

新人看護師をサポート

セルフマネージメント
自己の成長をフィードバック
メンタルヘルスサポート
失敗や悩み、人間関係でつまづいた時サポート



教育担当看護課長

「新人教育はすべての看護職員の役割である」という考えを基本とし、所属スタッフ全員が新人を見守り、日々の看護実践の場面を通して指導しています。新人は研修を通じて知識・技術・態度などを身につけ、集合研修と各職場でのOJTが連動することで、臨床現場でしか培うことのできない基本的看護実践能力を獲得していくよう教育計画を実践しています。

新人看護師の1日

日勤



第4病棟 2019入職
齋藤 愛理奈

8:45 夜勤ナースから
引き継ぎ

今日も笑顔で
ガンバります!

夜勤



第4病棟 2019入職
深松 菜奈

状況をしっかり
把握します!

10:00 リハビリまでの
歩行訓練

あせらず、ゆっくり
いきましょネ!



16:45 日勤ナースから
引き継ぎ

15:00 術後ケア



しっかり観察します。

20:00 巡視



おはようございます。
歯磨きのお手伝いをします。

7:00 モーニングケア



夜勤明けです、
お疲れさまでした!



敷地内に寮があり、
セキュリティもバッチリ!



チーム医療

医療安全対策チーム

- ★看護職がケアの提供において、対象者の安全確保のための安全管理を行うことはその職務です。
- ★ケアの提供における安全とは、対象者の療養生活上さらされる危険を回避し、適切な医療の提供を行うことです。

感染防止対策チーム

院内感染防止対策委員会を中心に、院内の感染予防に取り組んでいます。現場における感染対策状況の確認・指導や教育・研修などの活動も行っています。

栄養サポートチーム (NST)

医師、看護師、薬剤師、管理栄養士など多くの職種がチームの一員として連携して、入院患者さんに最適な栄養療法を提供しています。

地域医療連携室

他の医療機関や福祉施設と連携を取りながら、患者さんご家族のニーズに応え、経済的・心理的な問題にも一緒に向き合い、支えています。

褥瘡対策チーム

院内褥瘡発生の予防を目的に活動を行っています。定期的に勉強会を開催したり、多職種チームで週1回、褥瘡のある患者さんの回診を行っています。



医療安全対策チーム



リーダーシップ研修

コミュニケーション技法
リーダーシップ

レベルⅢ

部署内で
リーダーシップを
発揮しながら
看護実践を行える

臨床指導者
指導的役割
エキスパートコース
（院内認定コース）

レベルⅣ

看護部全体に
影響を及ぼしながら
スタッフに指導を行い、
役割モデルとなる



院内認定コース



実習指導者講習会

レベルⅤ

院内全体に
影響を及ぼしながら、
質の向上が図れる

実習指導者講習会
幹部看護師任用候補者選考

管理職

幹部看護師等管理研修
副看護部長研修

認定看護師 専任看護師

認定看護師
養成研修

キャリアラダー

国立病院機構で構築したACTyナースに加え、看護師経験年数に応じた「キャリアラダー」システムを導入し、あなたの力を伸ばします。



基礎看護技術

基礎看護技術
リアリティーショックへの対応
急変時の対応
多重課題

レベルⅠ

助言や指導を
受けながら
看護実践を行える
（新人レベル）

メンバーシップ
看護実践

レベルⅡ

部署内で自立して
看護実践を行える
（一人前レベル）

スペシャリスト

脳卒中リハビリテーション看護認定看護師

看護師 ●平賀 歩



回復期リハビリテーション病棟を中心に活動しています。毎日の生活は、まず患者さんの病気の管理が基本となります。その上で、急性期から脱した患者さんの合併症の予防やリハビリテーションを実施しながら、日常生活の動作（食事・更衣・トイレ・

入浴・移動など）を獲得できるようチームで支援しています。また、患者さんおよびご家族の方に、病状が理解できるよう説明や障害から見えにくい今後の症状などをイメージできるよう、さらには今後必要となる社会資源などの説明をしています。

院内認定脊髄損傷看護師

副看護部長 ●溝口 麻里

脊髄損傷の部位によって、患者さんの症状は様々で、またその方の家族背景や自宅環境もそれぞれ異なります。患者さんとじっくり話し、1つでも多く日常生活動作を再獲得できるよう関わり、自宅に戻れるようサポートしています。そのためには、多職種で情報を共

有して、連携を図っていくことが重要です。提供した看護が患者さんのその後のQOLを大きく左右しますので、少しでもADLが拡大できて退院目標に到達できた時には、大きな達成感と喜びを感じることができそうです。



日本運動器看護学会認定運動器看護師

副看護部長 ●竹谷 小百合

当院は整形外科に特化しており、学会認定看護師として働けることに誇りを感じています。主に病棟で看護ケアを行っていますが、スタッフからの相談を受けたり、研修運営サポートの学会委員としても活動しています。昨今入院日数

が短くなってきていますが、整形外科患者さんも早期に退院しており回復の早さに驚かされます。周術期を経て症状の改善が得られ笑顔で退院される患者さん達に関われることが一番の喜びです。



皮膚・排泄ケア認定看護師

副看護部長 ●小泉 重理沙

当院には、褥瘡疾患や頸椎・腰椎の安静のためコルセットを使用するなど褥瘡のリスクの高い方が多くいらっしゃいます。病棟や外来での褥瘡ケアに携わって、今ある

創（キズ）を改善することだけに注目せず、これから先の生活を見据えたケアの方法を病棟看護師と協力して提案しています。



感染管理認定看護師

副看護部長 ●佐々木 恭兵

病院は患者さん、面会者、職員等多くの人が一室に会する場です。中には、感染症に対して抵抗力が弱い方もいます。その中で、当院に関わるすべての人を感染から守るための活動を中心に行っています。感染予防

対策は、誰か一人がやれば良いことではありません。そのため、多くの人を巻き込み、医療関連感染の低減という目標を共有・達成できるよう取り組んでいます。

